

目 次

研究論文

- 音楽取調掛における箏の教習 1
——伝統的曲目の教習の可能性, 教授法, 東京音楽学校への影響——
東京藝術大学大学院 勝 岡 ゆかり

研究報告

- 市民社会との関わりから見た音楽祭研究に向けて 12
——【サイトウ・キネン・フェスティバル松本】における市民社会との関わりを事例として——
東京藝術大学大学院 小 泉 元 宏

書 評

- 奥中康人著 25
『国家と音楽—伊澤修二がめざした日本近代—』
首都大学東京 西 島 央

第40回大会報告

(大会実行委員会企画)

基調提案

- 小学校学習指導要領・音楽科に示された音符・休符・記号等の知識の習得状況 29
——小学校音楽科における学力の一環として——
吉 富 功 修 (環太平洋大学)
三 村 真 弓 (広島大学)

講演

- ハンガリーの音楽教育 32
——コダーイ・コンセプト——
Pajor Márta (Pécs 大学 Illyés Gyula 教育学部元副学部長)

ワークショップ

- コダーイ・コンセプトに基づいた音楽指導 37
講 師 Pajor Márta (Pécs 大学 Illyés Gyula 教育学部元副学部長)
翻 訳 Szirmai Monika (広島国際大学)
企 画 三 村 真 弓 (広島大学)

(40周年記念行事)

記念講演Ⅰ

- 学会40年の歩み 39
山 本 文 茂 (1999-2001年度会長・東京藝術大学名誉教授)

記念講演Ⅱ

- 韓国の音楽教育における最近の動向 45
関 庚 勲 (韓国音楽教育学会会長・韓国教員大学校教授)

(常任理事会企画)

プロジェクト研究Ⅰ

唱法再考 51

——今、学校教育現場ですべきことは何か——

コーディネーター	小川昌文	(横浜国立大学)
パネリスト	吉田孝	(関西学院大学)
	尾見敦子	(川村学園女子大学)
	松井孝夫	(東京学芸大学附属国際中等教育学校)
	斎藤隆	(新潟市立東新潟中学校)

プロジェクト研究Ⅱ

「現代音楽」のゆくえと音楽教育 60

——その可能性を探る—— (1)

提言	中地雅之	(東京学芸大学)
	寺内大輔	(作曲家・即興演奏家)
	中村滋延	(作曲家・九州大学大学院)
企画・進行	杉江淑子	(滋賀大学)

(共同企画Ⅰ) ワークショップ

わらべうたであそぶ 69

——子どもたちとともに——

ファシリテーター	高城敏子	(広島わらべうたセンター<空色の家>代表)
		<詩音塾>の子どもたち
企画・司会進行	権藤敦子	(広島大学)

(共同企画Ⅱ) ラウンドテーブル

サウンド・エデュケーションとサウンドスケープ思想の今後 74

提言	今田匡彦	(弘前大学)
	石出和也	(弘前大学)
	西田治	(長崎大学)
	一戸亮祐	(弘前大学大学院修士課程)

第40回大会記録 80

例会報告 88

「音楽教育学」投稿規程 91

「音楽教育実践ジャーナル」投稿規程 95

投稿申込書 97

投稿者用チェックリスト 98

「音楽教育実践ジャーナル」vol. 8 no. 1 (通巻15号) の特集投稿募集 99

編集後記

編集委員